

今回は、地域で活躍する2団体です。

箱 て ま た 団 体



教科書のないボランティア活動を中高生が企画運営 さどわら新鮮組実行委員会



市内の中高生の実行委員会と支援する大人の世話人会から構成されるボランティア団体です。中高生が社会貢献に関する事業を企画運営し、社会とのつながりを意識しながら自らを高めることが会の目的です。

メンバーの中高生は佐土原総合文化センターを拠点に、図書館での読み聞かせや部屋の飾りつけ、石崎浜のアカウミガメ産卵地保護のための海岸清掃、保育園・児童館での育児ボランティアなどを行っています。イベントでは小学生にも参加を呼びかけます。月1回開催する実行委員会には、授業や部活動の合間を縫って集まり、活動について話し合います。委員会には役員は設けず、全員が同じ立場で参加します。



自治会、図書館、福祉、自然保護などに携わる世話人は、中高生の自主性を尊重して、事業の手法の助言や関係先との調整など事業の環境作りを行います。

ボランティア活動には、決まった教科書は

ありません。メンバーは自分たちで課題を見つけて取り組み、具体的な体験をします。普段控えめな学生が、読み聞かせの場面で豊かな表現力を発揮したり、学生ならではの視点で図書館の卓上ツールを

考案するなど自己表現しています。

「地域活動で姿がみえにくい中高生が、これらの活動に取り組むことで、『こつありたい』と思う社会の具体像を自分なりに見つけていってほしい」と世話人達は温かく見守っています。

世話人代表：宮崎 幸生
TEL:0985-73-2817

お問い合わせ先

公民館で生まれた 癒しのハンドベルグループ

BeLL・カトレア

BeLL・カトレアは、12年前宮崎市倉岡の公民館で開催された敬老会でハンドベルを演奏した婦人会のメンバーを中心に生まれました。当時は、子ども用の小さなハンドベルを片手で演奏しました。



その後、ボランティアの講師の指導で地道に練習を重ね、今は2オクターブ以上を出す本格的な演奏で、30曲以上のレパートリーを持っています。依頼があれば、ホテルのロビー、老人福祉施設、地区の交流センターなど様々な場

所で、聴く人に合わせて曲目を変えて演奏します。



メンバーのほとんどは、仕事をもちっており、演奏スケジュールに合わせて休暇をとるなどして会場に駆けつけます。

メンバーは全員で10人、演奏には8人が必要です。なかには、演奏後すぐに仕事に向かう人もいます。コンサートのラストには、観客に感謝を込めて、「愛のオルゴール」を演奏します。

練習は、現在も会の原点である公民館で2週間に1回行います。反省会を兼ねたミーティングは「食べながら、楽しく」の主義で、互

いの演奏の批評はせず、自分で振り返ることにしています。会費を積み立てて全員で旅行に行くなどチームワークは抜群。それが心のこもった優しいベルの音色に表れます。

聴く人に季節感や雰囲気を感じてもらえるよう、数着の舞台衣装を使い分けられます。年間を通して演奏依頼がありますが、特にクリスマス

の時期はひびひりだこです。

長く続く理由として、「仕事以外の社会とのつながりに充実感」「音楽とベルが好き」「人に楽しんでもらえて、かつ自分がリフレッシュ」などメンバーの明るく賑やかな声がかえってきました。



代表者：田原 良子
TEL:0985-41-0139

お問い合わせ先